

執筆者紹介（執筆順）

編集後記

盛田 帝子 京都大学研修員

柳沢 悠 東京大学東洋文化研究所教授

高橋 哲雄 大阪商業大学名誉教授

久米 雅雄 大阪府教育委員会文化財保護課主査

若松 博恵 東大阪市教育委員会社会教育部文化財課主査

海野 圭介 大阪大学大学院文学研究科助手

石上 敏 大阪商業大学経済学部教授

田崎 公司 大阪商業大学経済学部講師

小田 忠 大阪商業大学商業史博物館学芸員

池田 治司 大阪商業大学商業史博物館学芸員

丸尾 佳二 大阪商業大学商業史博物館特別職員

運営委員

石上 敏 大阪商業大学経済学部教授

加賀田哲也 大阪商業大学総合経営学部助教

▼内輪褒めはよろしくないが、こらで一度私たち商業史博物館の小田忠学芸員について触れない訳にゆかない。小田氏独特の人生哲学に発する横溢するエネルギーこそ、わが博物館の原動力であるからである。小田学芸員がいつどのようにして勉強したのか私は詳らかにしないが、近世大阪史とその周辺地域史に関する彼の造詣は半端なものではない。単に知見が広いというだけではなく、実にユニークな問題関心と感性に支えられた鋭い言葉が日々職場の中を飛び交い、それが牽引車となって館長が目的とする「活動し、研究する博物館」に結果しているのである。

この博物館が平成一一年に博物館相当施設として指定されたのも、彼が学内外様々な方面で長年培ってきた力量に負うところが大きい。もっとも、その発想と知見に独学者流のあくなしとはいえないが、それが彼の個性と愛嬌の源泉であってみれば、他人は何をか言わん、館長言うところの「不良中年」の只々自重を念ずるのみである。

▼口絵の〈館蔵資料紹介〉は当博物館所蔵のもので本邦初公開だが、賀茂季鷹が、偶々労働省の委託事業の一環として古文書整理のアルバイトに来て頂いていた盛田さんの長年の研究テーマであったので、これ幸いに翻刻解題をお願いした。こんな機縁を生かせるところにも小回りのきく当紀要編集の面白さがある。（後藤郁夫）

大阪商業大学商業史博物館紀要 第三号

平成一四年一二月二五日発行

編集・発行 大阪商業大学商業史博物館

〒577-8505 東大阪市御厨栄町四一―一〇

☎〇六（六七八五）六一三九

印刷・製本 株式会社トープ

〒593-8326 堺市鳳西町三一―一

☎〇七二（二六九）五七八五